



2008 年 3 月 1 日発行
 発行人：村尾 憲一郎
 発行所：〒650-0024 神戸市中央区
 海岸通 8 神港ビルヂング 509
 TEL：078-393-0050
 FAX：078-393-0051
 E-Mail：kobekeio@dream.ocn.ne.jp
 URL：<http://www.kobekeio.org/>
 編集：堀 友子

2 月例会は休会でした。

今月号は例会レポートがありませんので、市居先輩の連載を 2 か月分まとめて一挙掲載いたします。

連載

『塾野球史（昭和前半）をひもとく』

——兵庫県出身の選手を中心に——

市居 嘉雄（昭 29 経）
 （文中敬称略）

【第 6 回】

◎昭和 25 年（1950） 主将：（春）徳丸幸助

（秋）山村泰弘

<新入部員> 吉川武利（甲陽高） 有本義明（芦屋高） 山本治（明石高） 田中徹雄（芦屋高）
 伝谷恵重（滝川高）

春季は山村が 22 試合連続安打の新記録をつくったが守備が乱れ、慶早戦では早大末吉投手の前に連敗し 6 勝 4 敗の 3 位に終わる（早大優勝）。慶應は神宮のみ使用。

秋季には慶應は低迷。新人山本投手の好投があったものの打線が振るわず、4 勝 7 敗で 5 位（早大優勝）。慶應は神宮のみ。

この年新入の有本と田中は昭和 21・23・24 年に春夏の大会に甲子園で活躍した。特に 24 年の選抜には有本投手、田中三塁手らの芦屋高は優勝戦で多湖投手兼左翼手らの北野高と対戦、延長 12 回で涙をのんだ。有本・田中に続き、翌年には多湖も塾野球部に入った。なお、投手山本と私は塾で同クラスであった。

◎昭和 26 年（1951） 主将：平古場昭二

<新入部員> 中川正夫（芦屋高）



山本 治

春季は山本がエース平古場を助けて勝利の大半をかせぎ新鋭選手が活躍した。8 勝 3 敗で慶、早、立が優勝決定戦に臨み、慶 1 対 0 立のあと早大に 3 対 2 で敗れ優勝を逸した。グリーンパーク球場 8 試合、神宮 8 試合。

秋季は阪井監督のもと山本投手の力投と花井、多湖ら打線の奮起によって、早大を決勝で退け 10 勝 2 敗で優勝した。すべて神宮球場。

この年入部の中川（芦高）も甲子園活躍の一人である。

◎昭和 27 年（1952） 主将：松本豊

<新入部員> 甲斐克也（甲南高） 広井靖（甲南高）
 戦後ずっと進駐軍に接收されていた神宮球場が全面的に返還された。

春季は慶應の左腕河合の好投と打線の活躍で、石井連蔵投手や広岡、小森、荒川らの早大に連敗したものの、8 勝 3 敗で連覇を遂げた。慶應の松本、福沢両名が 0.378 で首位打者を獲得した。

秋季は勝点 4 同士の早慶で優勝を争った。慶應河合、早大石井両投手が 3 日連投し神宮は沸いたが、決勝戦に 3 対 2 で敗れ 9 勝 3 敗で 2 位となった。

◎昭和 28 年（1953） 主将：河合貞雄

<新入部員> 土河次郎（芦屋高）
 中田昌弘（鳴尾高） 広沢誠一（灘高）

春季の慶應は河合投手らの故障もあり 7 勝 5 敗で 3 位（優勝は大沢らの立教）。

ラインアップ

左	多湖
二	宇田川
遊	松本
右	花井
捕	種田
一	梅垣
中	福沢
三	田中
投	山本
投	河合

ラインアップ

二	宇田川
二	伊沢
左	福沢
左	多湖
遊	松本
右	花井
捕	種田
捕	松原
三	田中
一	平出
中	野村
投	河合
投	山本
投	加藤

秋季は河合投手の巧投で慶早戦に勝ったものの、攻撃面が低調で7勝5敗2分で4位となる（秋山・土井の明大優勝）。

新入の土河は昭和27年の春選抜に出場。また鳴尾高の中田は26年の選抜に投手として藤尾捕手（のち巨人入り）と組んで好投し準優勝、翌春にも投手で4番打者として活躍した（のちプロ野球阪急入り）。なお、中田の塾での活躍はその年度に記す。



中田昌弘

◎昭和29年（1954） 主将：山下新造
 <新入部員> 林薫（神戸高） 阿部好佑（洲本高） 長尾勝弘（洲本高）

春季の慶應は山下らの打線は迫力があり藤田投手が力投したが、8勝4敗で2位（秋山投手の明大優勝）。慶應の日野選手が0.382で首位打者に。

秋季は慶應の強力打線が十分威力を発揮できず7勝5敗1分けて3位（優勝早大）。

この秋からベストナイン表彰が始まった。新入の阿部と長尾は昭和28年春の選抜に初出場の洲本高が淡路島に初の優勝旗を持ち帰った時の中心選手である。

（つづく）

【第7回】

◎昭和30年（1955） 主将：佐々木信也
 <新入部員> 福田純三（甲南高）

春季は藤田投手が頑張ったが、打線の中心衆樹の負傷後は低滞し結局7勝6敗で3位に終わった（明大優勝）。衆樹は0.432で首位打者に、ベストテンに4人が入り、チーム打率も1位であった。

秋季の慶應は中田の打棒が奮い、藤田が力投を続けたものの7勝4敗で3位（早大が優勝）。

◎昭和31年（1956） 稲葉誠治監督就任（～35年）
 主将：衆樹資宏

<新入部員> 芦尾芳司（滝川高） 高橋秀典（県尼崎高）

春季は藤田投手や佐々木内野手が卒業したあとで、5勝6敗2分で4位（優勝早大）。

新入の芦尾は昭和29年の春と夏に甲子園出場し、高橋も30年の春に出場した。

秋季の慶應は中田、衆樹を中心

ラインアップ

右	長尾
左	池西
一	中田
中	衆樹
遊	日野
三	榊原
二	本多
捕	黒松
投	林
投	巽

に打線が好調で林投手が巧投、早大にも連勝して10勝2敗2分で9シーズンぶり15回目の優勝を遂げた。中田が0.426で首位打者を獲得した。

◎昭和32年（1957） 主将：黒松俊一郎
 <新入部員> 渡海昇二（芦屋高）

春季は衆樹、中田、日野らの卒業後でも投攻守とも試合巧者ぶりを発揮し、9勝3敗で2位（優勝は杉浦、長嶋の立大）。

春季は、いきさつがあって5月の慶明2回戦から、従来は慶早戦にしか歌われなかった塾歌を応援団が歌うことになり、以来どの大学との試合にも塾歌を歌うことになった。

新入の渡海は昭和31年の選抜大会で芦屋高の軸として活躍（準決勝敗退）。35年度の塾主将となる（卒業後プロ野球巨人入り）。



渡海昇二

秋季の慶應は投打ともスランプに陥り3勝8敗で5位に（立大連覇）。

◎昭和33年（1958） 主将：巽一
 <新入部員> 宇多照雄（甲陽高） 百瀬進一（六甲高） 根津裕彦（灘高） 横山俊明（兵庫高）

春季は主将でエースの巽が7勝すべてをかせぎ、打線はリーグ1位の好調ぶりながら守備が乱れて7勝5敗で2位（立大3連覇）。慶應の赤木が0.404で首位打者となる。

秋季は立教が4連覇を遂げたが早慶共に振るわず、長雨にもたたられてリーグ戦は盛り上がり欠けた。しかし、慶早戦は1回戦3対3引き分け、2回戦3対2早大、3回戦2対2引き分け、4回戦1対0で慶應、5回戦も4対3で慶應が勝つという熱戦続きであった。結局6勝8敗4分で4位に終わる。

リーグ戦終了後の11月11日、慶應義塾創立百年記念の全慶早戦が神宮球場で、双方超豪華メンバーを揃えて行われた。早大の大浜総長がマウンドから投球すると、慶應の奥井塾長が打席でバットを振るという型破りの始球式が行われ、慶應の応援席では作詞家の藤浦洸が応援指導部のセーター姿でバンドを指揮するなど、百年祭らしい光景が見られた。

結局、百周年の記念試合は4対1で全慶應が快勝した。

それからちょうど50年が経過し、その間塾野球部はリーグ戦などで数々のドラマを生み、兵庫県出身選手も活躍してきた。

そして、いよいよ本年度は塾創立150周年の記念

すべき年を迎え、これからどんな球史が展開されていくのか、大いに期待しているところである。

(終)

永らくご愛読ありがとうございました。

会員だより

旅行記 2 篇をお届けします。

《ドバイの旅》

渡辺 義博 (昭 58 商)

1 月 18 日から 23 日まで UAE のドバイに旅行してきた。アラビアンナイトの世界を想像していた私は、その思いが間違っていた事に気づかされた。

現在拡張工事中のドバイ国際空港は世界を目指す不夜城であった。(日本からは関空と名古屋から毎日便が就航している。)

空港からホテルに向かう車の中からは、建設中の高層ビルがあちこちに見えた。現在、ドバイは建設バブル、世界中のタワークレーンの 3 分の 2



がドバイに集まっているのではという噂まであった。その中でも、“バージュ・ドバイ (ドバイの塔)” は圧巻だった。現在 600m まで完成、今年中に 800m (180F) の世界一のビルになるそうだ。

ちなみに、80F から 100F まであのアルマーニがホテルを運営するそうで、ドバイに来るセレブ達の関心を引くであろう。

さてそうしているうちに、最近神田うのがハネムーンで泊った“バージュ・アブ・アラブ” (五つ星を超えた七つ星と言われている) ホテルに到着。我々が帰った後に神田うのが来たらしい。タイガー・ウッズも同じ時期に来ていたかも? (彼はドバイ・クラシック・オープンに招待されていた)

右の写真に見える橋を渡って人口島に建つホテルに行くのだが、橋の前には門がありセキュリティがゲストかどうかをチェックして、ゲストのみ中に入れる。



バージュ・アブ・アラブ

チェックインは部屋で行い、執事が 24 時間ケアをしてくれるが、日本の観光客は慣れてなく、英語を話せない客は使いこなせないようだった。部屋は全室メゾネットタイプのスイートで、バスルームに置いてあるアメニティキットはすべてエルメス、それだけでも 5 万円以上するそうだ。

一休みしてから市内観光に出た。ガイドから UAE ドバイの話しを聞いた。

UAE は United Arab Emirates の略で 7 つの首長国からなり、首都はアブダビである。アブダビとドバイが日本では有名で、UAE の予算の 80% はアブダビ、20% 弱はドバイが出し、その関係で大統領はアブダビ首長が、副大統領兼首相はドバイ首長が就いている。人口は 180 万人で、その 8 割が外国人、2 割がアラビア人である。

気候は、夏 (6~9 月) は 40 度を超え、年 7 日ぐらいは 50 度を超えるそうだ。冬でも 10 度前後あり、日本より暖かい。気温が 45 度を超えると、野外の仕事は出来ない法律があるため、建設バブルのドバイでは、48 度ぐらいまでは 44 度で発表しているという噂がある。

ドバイは 1970 年初頭に英国から独立し、今ではロンドンにシティの不動産を買いあさり、英国・東英国・東京証券所の株を 20% 取得。

あと 20 年で石油が枯渇すると言われているドバイは、現在金融立国・観光立国を目指している。ちなみにアブダビは、石油はまだ 100 年以上とれ、ドバイほど焦っていないようである。

観光立国を目指すドバイには、次のような進行中のプロジェクトがあり、日本のゼネコンの多くが参加している。

三つの人工島建設 (パーム・パームジュメイラ・ワールドマップ)、そして四つ目のユニバースを発表、そのためダンプカーの行進が深夜から朝まで、オマーン国境付近の岩山からドバイ市内に続く。その他、世界一の動物園・水族館・テーマパーク・ショッピングモールなど。

また、地下鉄も建設中で、日本の企業体が請け負っていた。ただ、1L=45 円のドバイで車から地下鉄に通勤手段を代える人がどれだけいるか疑問であるといわれているようだ。

そうこうしているうちに、唯一の観光スポットといわれるゴールドスーク (金市場)、スパイススーク (香辛料市場) に来たが、期待していたほど

ではなかった。金は国際価格なので、金自体を日本で買うのと価格にさほど割安感はなかった。ただ、アクセサリなどの加工品は値切れるのでいいかも。



それよりもこのシーズンにショッピングフェスティバルがあり、どのモールもブランド品も50~70%オフの商品が多く見られ賑わっていた。私も50%オフのラルフローレンのカシミアセーターを購入したが、帰国後あまりの寒さに思わず関空で着てしまった。

まだまだ言い足りないことはあるが、この辺で終わりたいと思う。ドバイは一度は行ってみたいとお勧めするが、格安ツアーではつまらないかもしれない。

《常夏のハワイ紀行》

近藤 正 (昭39商)

2月の初めから10日間、寒い日本を脱出して、ハワイのマウイ島とオアフ島へゴルフと観光を兼ねて旅行してきた。一緒に行ったのは、塾の先輩Hさん(S37卒)と私の同期(S39卒)のSさん、Nさんの4人組で、昨年もカウワイ島へ行った気心の知れた仲間だ。最初の6日間はマウイ島のカアナパリで過ごした。ここは、美しい海とゴルフ場に囲まれた一大リゾート地だ。経費節減のため、コンドミニウム(キッチン付きのユニットを備えた宿泊施設)での自炊生活を続けたが、これがまた楽しかった。毎日ゴルフ・観光の後、近くのスーパーで買い物をして、各人が得意の料理を作るのだが、Nさんの日本から持参の香辛料で作った特製カレーライスが最高だった。私はゴルフ場で食べるおにぎり作りに精を出した。

着いた翌日、早速A.パーマー設計による名門カパルア・ゴルフクラブに出かけ、いざ、スタートしようとしたら大ハプニング……。ゴルフバッグを開いたら新調したばかりのドライバーのシャフトが真っ二つに折れていたのだ。帰国してから、関係先を奔走してなんとか補償を取り付けたが、航空会社の荷物の取り扱いには充分注意してほしい。



観光は、レンタカーを借りて各地を巡ったが、ラハイナ港からのホエール・ウォッチング・クルーズはすばらしかった。至近距離でのザトウ鯨の豪快な潮吹きや、体長15メートル、体重40トンの巨体で器用に宙返りするブローチングと呼ばれるハイジャンプは見ものだった。

後半は、オアフ島のワイキキで3日間を過ごしたが、ここではマウイでの緊縮財政から一変して、ワイキキの一等地にあるハワイ最古の名門モアナサーフライダーホテルに泊まり王様気分を味わった。ホテルの各階には、天然木材の家具が置かれ、古きよき時代の面影を残していた。



オアフ島での観光は、真珠湾の米潜水艦ボウフィン号と戦艦ミズーリの見学をした。ミズーリ号の降伏文書調印式の場所に立つと、署名した重光葵氏(当時外務大臣)の心境を偲び、何となく感傷的になった。

ゴルフの最後は、先般米女子プロ開幕戦で上田桃子ちゃんが活躍したタートルベイ・リゾートコースへ行ったが、途中、大雨でびしょ濡れとなり散々だった。



今回の旅行は、ハワイにしては珍しく雨降りが多く、自称サニーマンも形無しだった。でも、気心知れた仲間との旅行はとて

も楽しいもので、また機会があれば、是非行きたいものだ。

普段、会の行事に出席できない方、遠隔地の方も誌面に登場して参加してください。皆さんの投稿をお待ちしています。

堀 友子 tomoko@1968.jukuin.keio.ac.jp

会員の輪

《ムンク展鑑賞》

郷田 誠紀 (平6商)

はじめまして、郷田誠紀と申します。神戸慶應倶楽部に、昨年の10月から入会させていただいております。皆様、どうぞ、よろしく申し上げます。

自己紹介はそこそこに、今回は、兵庫県立美術館で開催中のムンク展に行ってきた感想等を披露させていただこうかと思えます。

ムンクというと叫びに代表されるように、不安や心の葛藤を現した表現主義的な作風で知られていて、陰鬱の作品が多いイメージがあり（それ故、ヒトラーからドイツ国内での活動を弾圧されていたはずです）、ムンク展に行くのも迷っていたのですが、行ってみて、その印象が全くと違っていい程変わりました。それは、今回の展示は、1890年代の『吸血鬼』や『絶望』といったいわゆるムンクと言われて浮かぶようなイメージの作品も展示されていましたが、それよりも、ムンクの装飾画家としての側面にスポットを当てたものがメインであったからです。

ムンクは、個人宅や施設等から絵の依頼を数枚受けたとき、その作品群に一連のテーマを持たせ、どのように配列するかということにテーマをもたせるということに力を入れた画家でもあり、今回はそういった『装飾プラン』が数多く展示されておりました。

中でも、印象に残ったのが、『リンデ・フリーズ』というもので、これはドイツの医師のリンデ博士から、子供部屋に飾る絵の作成を依頼されたときの作品群なのですが、最後の一枚の絵に、男女が公園のベンチで抱き合っているのが描かれていて、依頼者のリンデ博士はそれが気に食わず、作品群全ての受け取りを拒否したといういわくのあるものです。この展示を見て、その問題の絵以外は、素晴らしいものばかりでありましたし、問題の絵も素晴らしいもので、抱き合っているとんでも抽象的で風景に溶け込んでいましたので、子供部屋に飾るのも相応しくないわけではないのにという風に感じました。テーマごとに、どう感じるかというのも、人によって異なるでしょうし、もし、皆様もご覧になられたら、この『リンデ・フリーズ』は見てください。

また、1909年にノルウェーに戻ってからの作品も多く展示されており、それらは1890年代のムンクの代表作群とは少し雰囲気の違い、鮮やかな色彩で描かれたものが多く、その辺りもイメージとは違って楽しめました。

この、ムンク展は3月30日まで開かれていますので、興味のある方は是非行ってみてください。

これからも、会員便りや会員の輪のコーナーで、また書く機会がありましたら、日常体験したことや興味のあること等を中心に取り上げて行きたいと思えます。例会等も積極的に参加するつもりですので、皆様これからもよろしく申し上げます。

同好会だより

ゴルフ同好会

◎ 神戸慶應倶楽部・KLA ジョイントゴルフコンペ

日時：4月11日(金) 9:45 スタート (7組)

プレー費：14,000円 (ランチ付き・キャディ付き)

◎ 神戸慶應倶楽部GWゴルフコンペ

日時：5月5日(月・休) 9:10 スタート (4組)

プレー費：18,000円 (ランチ付き・キャディ付き)

両コンペともに

場所：タイガースゴルフ倶楽部

〒673-1324 兵庫県加東市新定 275-144

TEL：0795-46-0111

参加費：3,000円 (ダブルペリア方式)

絶好のゴルフシーズンです。爽やかな季節に青空の下、白球を追って楽しみましょう！

参加お申込は、世話人：渡辺義博まで

KKJC

◎ 3月9日(日) ♪クラシックジャズを楽しむ♪

神戸酒心館 3時開演・終演後に懇親会を予定。

塾員でもある才媛小川理子さんのライブです。

すでに30名の参加申込がありますが、ご希望があれば追加受付をいたしますので、至急に堀 友子までお問い合わせください。

～3月例会のご案内～

日時：3月19日（水）18：30（受付18：00～）

場所：東天閣（本店）

<http://www.totenkaku.com/index.html>

〒650-0003 神戸市中央区山本通3-14-18

TEL：078-231-1351

会費： 会員（会員家族） ¥9,000

ビジター ¥10,000

本年度最終となる3月例会は、中神安邦会員にお世話を頂き、恒例の東天閣本店で中国王宮料理をお楽しみいただきます。

多数のご参加をお待ちしています。

出欠の締め切りは、3月12日（水）です。

最近、当日飛び込みで出席される方が見受けられますが、食事数に影響がありますので、必ず事前にご連絡をお願いいたします。

『慶應義塾高校野球部甲子園出場を支援する会』

義塾創立150年を迎える社中一同が心を一つにして、物心両面から活躍を応援していこうという趣旨で組織されました。（発起人：安西祐一郎塾長他多数）春の選抜での活躍を期待して、支援募金の協力要請がきております。詳しくは添付の文書をご覧ください。

申込単位は、1口5千円（できれば2口以上）。

ご協力いただける方は、郵便口座「慶應義塾高校野球部甲子園出場を支援する会」、口座番号：00290-4-60947 に払込いただくか、専用振込用紙を事務局に請求してください。

14日には対戦相手が決まります。



～～事務局よりお願い～～

◆例会等にご出席の会員様はお食事等の準備の都合がありますので、必ず事前に事務局までお申し込みをお願いします。なお、当日のキャンセルにつきましては会費全額を頂きますのでご了承ください。

◆住所・電話番号・メールアドレスの変更がある場合は、必ず事務局にお知らせください。

◆年会費未納の会員様は、3月末までにお振込お願いします。自動引き落としの会員様は口座の残高確認をお願いします。

～～今後の行事予定～～

4月4日（金）慶早ゴルフ

廣野ゴルフ倶楽部

4月25日（金）4月例会 神港ビル

5月28日（水）2008年度総会

神戸外国倶楽部

詳細については、次号にてお知らせします。

同好会活動につきましては、各世話人にお尋ねください。

イーゼル会：前田 剛資

囲碁同好会：菊田義正

ゴルフ同好会：渡辺義博

KKJC：近藤 正

PC同好会：市川義人

マジック同好会：塚本明久

（連絡先は事務局にお問い合わせください。）

ちよつと雑学

「結構」の語源は「構えを結ぶ」という字のとおり家屋を構築したり、文章を組み立てたりすることを言う。建築物や文章が優れている時「見事な結構」と褒めたが、それが見事、立派の意味を表すようになった。「結構人」「結構者」は、好人物、おとなしい人、愚直な人。「結構立」は、わざと好人物らしくすること、お人よし。更にお人好しから愚鈍な人をさすようになり「結構は阿呆のうち」ともいわれるようになった。現在では「結構いいね」とか、外国の人に評判の悪い Yes か No か曖昧な「結構です」という使い方が多い。

「結構」が建築用語からきた言葉とは・・勉強になりました。（広辞苑に出ていたという、又聞きです。）

編集後記

○今年の二月は寒すぎました。お陰でストレス（せい肉？）が溜まるばかり。おまけに世間は嫌な事故や事件がいっぱい。食問題までがからんできて・・・。月が替われば、この呪縛からも逃れられることを願っています。早く春の息吹を感じたい今日この頃です。（ほ）